



荒木 英知
(統一)

**中学生のネット依存
教育行政の対応は**

問 中学生のネット依存について聞く。

①子ども達にとって携帯電話などは手放せないものとなっているが、ネット依存やネット犯罪などの社会問題に対し、市の教育行政はどのように認識し、対応しているか。
②「スマホを使うための18の約束」を参考にしているかどうか。

答 ①市では「宮っ子すくすくノーケータイプラン」に基づき、情報モラル教育の充実や、保護者への意識啓発に取り組んできたところである。
こうした中、子ども達の携帯電話などの所持率は上昇しており、生活習慣の乱れや学力低下につ

ながるネット依存などが問題となっているため、学校、家庭、市教育委員会が一体となって早急な取り組みの強化が必要である。特に、各家庭が足並みをそろえ、責任をもつて管理できるようにすることが重要である。

②「スマホを使うための18の約束」は、家庭でのルールが具体的に示されているものである。今後、共同宣言の作成などの参考にしていく。

①「子ども達にとって携帯電話などは手放せないものとなっているが、ネット依存やネット犯罪などの社会問題に対し、市の教育行政はどのように認識し、対応しているか。」

その他の質問項目

- ①中学校の学校図書②民謡民舞・和楽器を採用した授業の推進③懲戒処分④庁内の整理整頓⑤レスパードの推進⑥市民要望等の業務の引き継ぎ⑦公会計⑧L・R・T



遠藤 和信
(環境)

**新制度を創設して
歴史的・景観的建造物の保存活用を**

問 歴史的・景観的建造物の保存と活用を巡り、都市の魅力向上させる

よつ、安全確保を前提に、建築基準法の適用を除外する新たな制度を創設すべきと考える。
①どのような検討を行い、その結果は。
②今後どのように保存と活用を進めていくのか。

答 ①これまで361棟の大谷石建造物の状況や他都市の先進事例の調査、有識者などへのヒアリングを行い、検討してきた。
その結果、大谷石建造物の防火や避難の安全性を確保することは、技術的に可能だが、構造については、大谷石独特の外

観を損なわず、かつ多額のコストを掛けずに安全性を確保することは、技術的に課題があるため、歴史的建造物の構造や保存活用に詳しい県建築士会や景観整備機構などの協力を得ながら、対応策を検討していく。

②大谷石建造物は、市の重要な景観資源であり、保存と活用には、歴史・景観上の評価や所有者の合意形成が必要のため、所有者の意向調査や詳細な実態調査などを行った上で、保存と活用に向けた具体的な制度について検討していく。



▲大谷石蔵を活用した店舗

その他の質問項目

- ①少子・高齢・人口減少社会に向けた都市経営②マイナンバー制度に向けた対応とICT自治体の構築③公会計の導入と公共施設管理④情報端末タブレットの活用とテレワークの推進⑤第三セクター等の健全化と活用のあり方⑥ポランティアポイント制度



斉藤 さちこ
(びじょん)

**求職者支援制度の
周知拡大を**

問 求職者支援制度は、雇用保険が受給できない

求職者などが職業訓練によるスキルアップを通じて早期に就職を目指すための制度であり、生活保護受給者を減らす効果などもあると思われるので、市の窓口で説明やチラシを配布し、制度の周知を図るべきではないかと考えるがどうか。
また、職業訓練の受講生の人数増加を国に要望しては。

答 求職者支援制度は、栃木県労働局が民間事業者を活用し、実施している事業であるが、市では、本庁1階に開設している「みやハローワーク就労支援コーナー」で、相談

にきた市民の状況に応じて制度を案内するほか、広報紙に制度周知の記事を掲載している。
これまでも就労支援の制度について市の制度のほか、国・県が実施している制度についても周知を行っており、引き続き周知に努める。

また、受講者の人数は県内の状況を勘案して目標値が定められているが、増加の要望については、市内の求職者の状況などを見ながら対応していく。



▲みやハローワーク就労支援コーナー

その他の質問項目

- ①ひとり親家庭への支援(父子福祉資金貸付事業、ワンストップ窓口の設置)②人口減少問題への取り組み③施設の維持管理(市道の維持管理、設備の更新・修繕)④教育行政(児童生徒の机、教職員の服装、水筒の持ち込み)